

# 保育園との対話

- ① 園長以下全職員参画の下で作成した「保育課程」を熟読して、園がその年度に行う保育計画や考え方を理解します。
- ② 評価に当たっては、保育園側のお話をよく聞きます。保育園の考えや意向をよく理解したうえで評価(実態確認)します。
- ③ 園が行った自己評価について、評価基準に沿った解釈を、丁寧に説明します。
- ④ 全てに客観的理解に基づく対話をします。

# 評価結果のフィードバック

## ① 総合評価

良くできている項目、今後改善してほしい項目をそれぞれ3点程度記載して保育園に説明します。

## ② 自己評価全項目に対する評価機関コメント

横浜市評価基準事例では、園提出の全256項目が記載された自己評価に対して、全項目にわたり評価機関としての評価理由を記載してフィードバックします。これにより、保育園と職員個々に対して、個々の評価項目についての理解が促進されます。